



規模拡大を進めている農場の全景

経営概要

- ◆代表者、所在地
蛸島幸司、宮崎県宮崎市
- ◆設立年
令和2年1月
- ◆経営規模
施設きゅうり1.7ha、施設いちご27a
- ◆従業員数
正社員7名、パート・アルバイト35名、技能実習生8名
- ◆事業内容
農産物の生産、直売に取り組む。
令和5年冬よりいちごの観光農園を開始予定

1 現状及び相談内容

規模拡大を図りながら、海外での農業展開を計画的に実践するため、法人化の必要があり、法人化の手続を円滑に進めるための助言を受けたい。

また、規模拡大や海外展開に向けて雇用を含めた労務管理の知識を習得する必要があることから、専門家による助言を受けたいと令和元年10月に相談があった。

2 支援内容

税理士から個人と法人との違いや法人化のメリット及びデメリット等を説明し、事業計画の作成及び実行の重要性について助言をした。

また、社会保険労務士から労働基準法の農業分野における適用や社会保険・労働保険の加入に関する注意点等について助言を行った。

3 人材の確保・育成に資する取組

★独自に作成したカリキュラムによる従業員教育を行い、技術習熟度に応じた能力給を導入するとともに、就業時間や休日のシフトを選択できるようにすることで、従業員が働きやすい環境を実現

■多様な就業体制

就業時間を全日、午前のみなど4通り設け、休日も週休1～3日のシフト制を導入するなど従業員の意向を最大限尊重することにより、働きやすい環境を整備した。

その結果、幅広い年齢層の従業員を雇用でき、従業員同士の関係も良好で、離職率も非常に低い。

■外国人材の積極的な採用

海外での事業展開を見据えて、特定技能外国人などを積極的に採用しており、優秀な人材については正社員に登用するなど会社の経営基盤の強化につなげている。

また、数年前から規模拡大に伴い、きゅうりの周年生産やいちごの生産に取り組み、副次的な効果として周年雇用を実現した。

■技術習得支援並びに能力給の導入

従業員が生産及び出荷に係るすべての作業を理解し実行できるように、カリキュラムに基づいた従業員教育を行い、従業員の能力向上に取り組んだ。

また、給与体系を技術習熟度に応じた能力給とすることで、従業員のモチベーションが向上し、その結果、優秀な人材を確保が可能となった。



出荷作業を行う特定技能外国人の様子

今後の意気込み

新型コロナウイルス感染症の影響でストップしていた海外展開に改めてチャレンジしていきたい。

専属スタッフ所感

今後国内及び海外における事業展開を考えているとのこと、法人化の効果が徐々に出てくるものと期待しています。